

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

第8回 理事会

平成23年6月18日(土) 13:00~14:45

沖縄大学2号館3階2-306号教室

議事次第

- 1 開会、出席者数の確認
- 2 議事
 - (1) 第4回総会について
 - ①進め方
 - (2) サウジアラムコからの寄付金について
 - (3) その他
3. 閉会

資料一覧

資料1：第4回総会議事次第

資料2：サウジアラムコからの寄付金運用について

役員名簿

役職	名前	
会長	中野 義勝	
副会長	西平 守孝	
理事	泡瀬干潟を守る連絡会	桑江 直哉
	上里 幸秀	
	エコガイドカフェ	猪澤也斗志
	沖縄エコツーリズム推進協議会	平井 和也
	沖縄県漁業協同組合連合会	上田邦太郎
	沖縄県自然保護課	富永 千尋
	沖縄県ダイビング安全対策協議会	案納昭則
	鹿熊信一郎	
	梶原 健次	
	環境省那覇自然環境事務所	山脇 一浩
	後藤 亜樹	
	コーラルクエスト	岡地 賢
	桜井 国俊	
	沖縄リーフチェック研究会	安部 真理子
	NPO 法人グローイングコーラル	上原 直
	渡嘉敷ダイビング協会	平田 春吉
	中谷 誠治 (欠・委任状)	
	八重山サンゴ礁保全協議会	吉田 稔
WWF ジャパン	安村 茂樹	
監査役	具志堅 宗弘	
	沖縄県衛生環境研究所	仲宗根 一哉
	沖縄県環境整備課	比嘉 隆

第 4 回 沖 縄 県 サ ン ゴ 礁 保 全 推 進 協 議 会 総 会

平成 23 年 6 月 18 日 (土) 15:00～17:00

場所：沖縄大学 2 号館 3 階 2-306 号室

議 事 次 第

司会：渡嘉敷 彰 (自然保護課)

- 1 開会挨拶 (中野 会長)
- 2 議 事
 - (1) 議長あいさつ ()
 - (2) 総会成立の確認
 - (3) 議事
 - ①第 1 号議案 (平成 22 年度事業報告)
 - ②第 2 号議案 (平成 23 年度事業について)
 - ③第 3 号議案 (平成 22 年度の決算報告)
 - ④第 4 号議案 (平成 23 年度の予算案)
 - ⑤第 5 号議案 規約の修正、追加
 - 第 5-1 号議案 規約の改正 (15 条)
 - 第 5-2 号議案 委員会の設置について (20 条)
 - 第 5-3 号議案 規約の追加 (30 条)
 - (4) 報告事項
 - ①サウジアラムコからの寄付金について
- 3 閉会の挨拶 (富永 自然保護課長)

資料 2

サウジアラビア国営石油会社サウジアラムコからの寄付受け入れの経緯

<寄付の背景>

サウジアラビアと日本政府の間で合意された沖縄における石油備蓄事業に伴い、サウジアラビア国営石油会社サウジアラムコ東京支社において、沖縄のさんご礁保全に携わるNPOへ寄付をする計画が策定され、検索の結果、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会への寄付について事務局へ打診があった（平成22年11月5日）。

<本協議会理事会の対応>

・協議会理事および事務局で議論した結果、寄付の背景、協議会に求めることなどの詳細をヒアリング等した上で、受け入れの可否について判断を行うこととした（平成22年11月6日以降）。

・協議会理事および運営委員が東京において、サウジアラビア国営石油会社サウジアラムコ東京支社の担当者に面会し、寄付に至る経緯とともに寄付金の使途についての説明を受けた（平成22年11月12日）。

①サウジアラムコは本年はじめ日本政府（経済産業省）と合意し、うるま市にある沖縄CTS（原油貯蔵ターミナル）のタンクの一部を借り上げ、日本への石油安定供給に万全を期すことになった。

②タンクへの貯油は早ければ22年中、遅くとも23年早々に開始される予定

③新たな施設建設や、周辺環境の開発等を行わない。

④11月末には本国から送金されるので、なるべく早く内容を決めたい

⑤寄付金の使途には「サンゴの保全活動」という縛りがあるが、細かい内容については応相談。期間は単年度でもよいし、複数年度でもかまわない。受ける側の義務としては、年度末の会計報告です。

・上記会談の報告を受けて理事の間で検討した結果、協議会には、いろいろな立場の方が参加しているが、推進協議会としての具体的な展開を図るためには当然資金も必要であり、こういった機会を前向きにとらえることも大事などとする前向きな意見が出され、寄付を受け入れることとし、相手方に連絡した（平成22年11月17日）

・第7回理事会において、協議会として新たな基金等を立ち上げるなど、今後の寄付の活用について運営委員会を中心に検討していくこととした（平成23年5月13日）。

<今後の予定>

・もうしばらくは、協議会口座に寄付金が振り込まれる予定（平成23年6月8日）

サウジアラムコからの寄付金の運用方法について(案)

1. 寄付金の運用について
 - ・対象区域のサンゴ礁の保全に関する活動を推進するための助成
 - ・寄付金運用のために必要な事務局経費
 - ・当協議会の運営費および活動費
2. 助成の目的
 - ・本助成は、本協議会の趣意書・基本理念に沿ったサンゴ礁保全活動に対し行われることにより、「沖縄にとって真に持続可能な社会を形成するために必要な、健全なサンゴ礁を次世代に残すサンゴ礁保全の取組み」を積極的に推進していくことを目的とする。
3. 助成対象
 - ・協議会会員に限る
4. 助成対象の活動内容
 - ・海域にとどまらず、陸域を含めた総合的で持続的なサンゴ礁の保全活動
 - ※詳細については、申請毎に審査する。
5. 助成金額
 - ・1年間の助成合計金額 300 万円
6. 助成期間
 - ・基本的に単年度（ただし、継続的な活動計画となること）
7. 審査・採択について
 - ・助成金にかかる申請の受付、審査などの業務を外部機関に外注する。
 - ・審査内容を協議会理事会で確認後、採択・不採択を決定する。
8. 助成条件
 - ・活動終了時には所定の様式により活動概要報告を提出する。
 - ・合わせて助成金の使途を領収書添付で提出する。
 - ・報告された活動は協議会ウェブサイト公表される。
 - ・活動の際には協議会の助成をうけたことを明記または明言する。
 - ・活動の変更は、前もって協議会の承認を受ける。
 - ・助成を受けた団体については、次回総会終了後に行われる活動交流会において、活動報告を行うこと